

## 関連団体報告

# NPO法人秋田ふるさと応援団便り

### <3年振りのチャリティの集い>

2022年12月4日(日)千代田区麹町のスクワール麹町に於いて秋田ふるさと応援団主催のチャリティ「第9回スポーツ・文化・災害秋田応援の集い」が、約180名の参加で開催された。

チャリティの集いは、2011年東日本大震災の年、復興チャリティとして始まり、第8回は2019年に開催された。

その後何度か企画されましたが、新型コロナ蔓延のため延期せざるを得ない状況が続いた。

2022年後半頃から各種制限が緩和され、12月4日ようやく開催にこぎつけた。

参加人数の予測が難しく、当初確実120名、最大150名とみたが蓋を開けてみると180名以上の参加者になった。テーブルを増やし役員はテーブル席なしになった。

12月4日、司会の挨拶に続き13時からの講演では橋本五郎氏から「これからの日本・どうなるこれから」と題して国際情勢から日本の防衛、国内政治について話して頂いた。

懇親会では秋田県所縁のプロ・アマの皆さんによる芸能ステージに続いて、今年大相撲九州場所活躍した王鶴関や、両親が鹿角市出身の漫画家やくみつる氏ら著名人の色紙などのチャリティオークションがあった。



今年度最も活躍したチームに贈られる「えがったで賞」が、春高バレー男子で3位になった雄物川高校バレー部に贈られた。フィナーレでは、全員で「ふるさと」と「秋田ふるさと応援団歌」を合唱。大淵 清一応援団長 による「フレイフレー秋田」、鈴木 猛副理事長からチャリティの一部報告と参加者へのお礼が述べられた。次回の再会を期してお開きとなった。(チャリティの集いはホームページからリンクしYouTubeで見られる)

### <全日本学童野球 脇一瀧西、6-5で競り勝ち>

高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球マクドナルド・トーナメントで2回戦から出場した秋田県代表脇一瀧西野球少年団(男鹿市)は8月10日、東京・町田市小野路球場で土岐津野球クラブ

東京地方は連日の猛暑日が続きこの日も午前10時には気温が33度C、試合終了頃は34度Cとなった。

応援席は遮るものもなくコンクリートの照り返しもあってジリジリと音が聞こえる気がする暑さだが、風があってなんとかしのげた。ユニフォーム姿の選手も暑さで赤い顔をしていたが運営側も休憩時間をとるなど対処していたようだ。



### <令和5年秋田ふるさと応援団 新年会>

令和5年立春の日、秋田ふるさと応援団の新年会が佐藤養助日比谷店にて45名の参加で開催された。

14時30分の開会では、全員による秋田県民歌斉唱に続いて、理事長挨拶の後、秋田ケーブルテレビ東京支社長の飯島紀之氏による乾杯の音頭で懇親が始まった。

春の選抜高校野球に出場が決まった能代松陽高校OB、OGにエールが贈られた。残念ながら21世紀枠の候補に挙がっていた由利高校は選に漏れた。

理事長挨拶で、認定NPO法人への格上げについて触れられた。

### <2023年の活動>

3年間に渡るコロナ禍の長いトンネルを抜け5類移行の方針が示されるとともに各スポーツ大会も有観客で開催されるようになった。



秋田ふるさと応援団も税制優遇される認定NPO法人へと会員数の増加を目指したいところだが、会員の高齢化が進み会のふるさと会や同窓会同様、会の若返りが課題になっている。

記事 秋田ふるさと応援団 広報担当 理事  
赤川 均 (昭和41年電気科卒)

\*\*\*\*\*



株式会社 浜田建設

HAMADA

代表取締役 相原博元  
(平2地)

〒010-1654 秋田市浜田字長坂20番地  
TEL 018(828)9082  
FAX 018(828)4830



秋田市指定水道工事店

キバ水道株式会社

代表取締役 相原博元  
(平2地)

〒010-0042 秋田市桜一丁目16-17  
TEL 018(834)1317  
FAX 018(834)1983